

2016(平成 28)年 1 月 30 日

報道関係機関 各位

「第 2 回 卒原発の進め方を考えるフォーラム」の開催について

## プレスリリース

この度、表記の会合を開催するにあたり、広く市民及び県民に周知したく、貴紙面上等において事前の告知や当日の取材等のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

尚、開催趣旨及び詳細につきましては、別紙の開催案内をご参照ください。

### 記

- ・開催日時 2月14日（日） 14：00から16：30
- ・開催場所 酒田市勤労者福祉センター 2階 第2、3研修室
- ・参加費（資料代、会場使用料として） 500円  
※定員を超えて資料が無くなりました場合は、無料となります。

以上

呼びかけ人 金子 博（酒田市環境審議会委員）  
(50音順) 菊池 俊一（山形大学農学部准教授・森林影響学）  
佐久間 憲生（出羽三山の自然を守る会）  
高橋 寿昭（NPO 法人庄内海岸のクロマツ林をたたえる会）

### 【問合せ先】

金子 博  
酒田市東泉町 5-6-12  
携帯 090-9033-2013

# 第2回 原発の進め方を 考えるフォーラム

どなたでも参加  
できます

## ～庄内の自然環境と森林資源～

東京電力福島第一原子力発電所の史上最悪の事故から1年後の2012年3月、山形県は原発に頼らない地域づくりを進めていくため「山形県エネルギー戦略」を策定しました。

2012年8月20日、山形県知事と酒田市長は共同記者会見で「酒田市十里塚地区における風力発電事業の実施」を突然発表しました。市民への説明会は、発表から7ヶ月近くたった2013年3月10日に初めて開催。その後、環境影響評価法の趣旨を逸脱した「自主アセス」による調査が行われています。風力発電事業を第二の「原子力村」にさせないため、「原発の進め方を考えるフォーラム」を継続的に開催したいと考えています。

第2回目は、庄内海浜県立自然公園の自然環境の状況について詳しい土門尚三氏よりお話を伺うと共に、自然エネルギーの一つであるバイオマスエネルギーの利用と課題について、山形大学農学部教授の野堀嘉裕氏より話題提供していただきます。

参加者のみなさんと自由闊達な意見交換を行いたいと考えていますのでご参加ください。

開催日時 2016年 **2月14日(日)**

午後2時00分から4時30分まで

開催場所 酒田市 **勤労者福祉センター 2階 第2、3研修室**

酒田市緑町19-10 0234-26-2644

報告など 話題提供 1; 庄内海浜県立自然公園の自然環境について  
講師/元環境省希少野生動植物種保存推進員・土門尚三氏  
話題提供 2; 木質バイオマスエネルギーの利用と課題  
講師/山形大学農学部教授・野堀嘉裕氏

参加費 500円(室料及び資料代) 定員25名(資料は定員数のみ用意)

呼びかけ 金子 博 (酒田市環境審議会委員)  
(50音順) 菊池 俊一 (山形大学農学部准教授・森林影響学)  
佐久間 憲生 (出羽三山の自然を守る会)  
高橋 寿昭 (NPO 法人庄内海岸のクロマツ林をたたえる会)

問合せ先 金子 博 (酒田市環境審議会委員) 連絡先 090-9033-2013